



平成15年5月21日
中国電力株式会社

[経営課題への取り組み状況](#)
(PDF:261KB)

平成15年5月

注 このPDFファイルをご覧になるには Acrobat Reader4.0以上が必要です。





経営課題への取り組み状況

クリエートチェンジ21

お客さまに信頼され選択されるために

ToYou ForYou WithYou



平成15年 5月

中国電力株式会社

平素は当社事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本冊子では、当社の経営課題への取り組みについて平成14年度の実施状況を中心に取りまとめています。ご高覧いただき、当社の業務運営についてより一層のご理解を深めていただきますとともに、ご意見・ご感想等をいただければ幸いに存じます。

目 次

．平成14年度の実施状況

1．競争力の強化とお客さまニーズへの対応	
（1）経営効率化への取り組み	2
（2）電気料金の引下げ	7
（3）お客さまサービスの充実と多様化	9
2．安定供給への取り組み	12
3．環境・エネルギー問題への対応	
（1）地球環境問題への対応	13
（2）循環型社会形成への対応	14
（3）新エネルギーの普及促進	16
4．グループ経営と新規事業展開	
（1）中国電力グループ経営の基本的考え方	17
（2）新規事業展開	18

．業績の動向

1．収支実績	19
2．平成15年度の収支見通し	20
3．経営目標の達成状況	21

参考資料

- ・データでみる中国電力の概要
- ・決算関連データ
- ・中国電力グループ

平成14年度の実施状況

当社は、低廉で安定した電気とお客さまにご満足いただけるサービスを提供するため、平成14年度においても供給計画・経営効率化計画に基づく様々な取り組みを実施しました。

クリエートチェンジ21

お客さまに信頼され、選択されるために

To You : 電気の価値を高めて情報発信し、お客さまに選択していただきます

For You : 選んでいただいたお客さまに感謝の気持ちを持ってサービスの向上を図り信頼を得ます

With You : お客さまとのふれあいを大切にし、お客さまに学び、お客さまとともに成長していきます

【参 考】

平成14年度供給計画基本方針

1. 価格競争力の強化とお客さまニーズへの対応
 - (1) 徹底したコスト低減
 - (2) お客さまに選択いただくための営業活動の強化
2. 安定した電源・電力輸送設備の形成と運用
3. 環境・エネルギー対策への取り組みと原子力発電の開発推進

平成14年度経営効率化計画

1. 設備投資額
平成14～16年度の3カ年平均で1,400億円程度以下とします。
2. 修繕費
自社開発の設備診断技術を活用し、取替・点検周期の最適化を図ることなどにより、削減していきます。
3. 業務運営諸経費
費用対効果を踏まえたコスト管理の更なる徹底により、抑制に努めます。

毎年3月に今後10年間の需要見通しと発電所の建設計画などを取りまとめた「供給計画」を経済産業省に届出し、それに織り込んだ今後3年間の効率化への取り組みについて「経営効率化への取り組み（経営効率化計画）」として公表しています。

1. 競争力の強化とお客さまニーズへの対応

(1) 経営効率化への取り組み

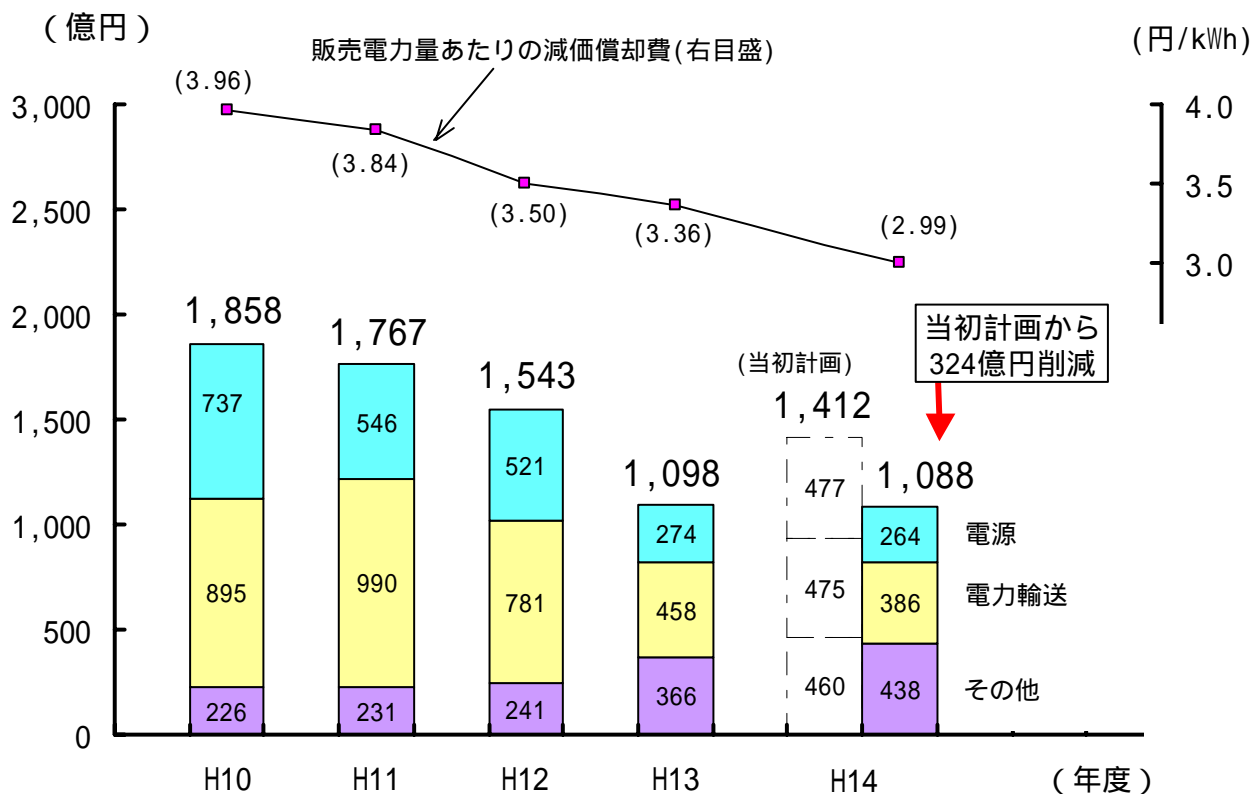
「平成14年度経営効率化計画」に基づき効率化に取り組み、実施段階で新たな効率化施策を追加するなど、計画以上の実績を上げました。今後も更なる効率化努力により、料金コストの低減に努めてまいります。

減価償却費等設備関係費用を低減するため、設備投資を抑制しました

請負・資機材調達コストの低減などにより設備投資額を抑制し、減価償却費の低減に努めました。

平成14年度の設備投資額は、当初計画から324億円削減し、ここ5年間で最も低い水準となりました。

設備投資額の推移

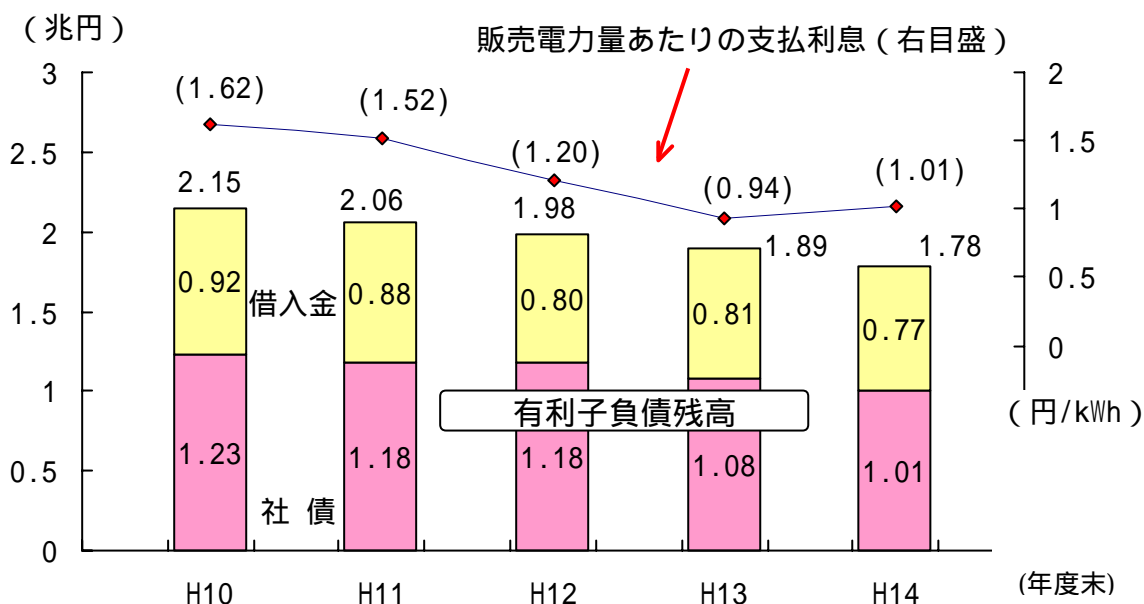


投資の抑制で得られた資金は、借入金の返済など財務体質の強化に優先的に充当しており、金利負担の低減に努めました。

平成14年度末の有利子負債残高は1兆7千8百億円となりました。

平成14年度には、将来の金利負担軽減を図るため高金利負債の繰上償還を行いました。

有利子負債残高・支払利息の推移



〔効率化施策の事例〕

TBM (トンネルボーリングマシン) 工法の採用

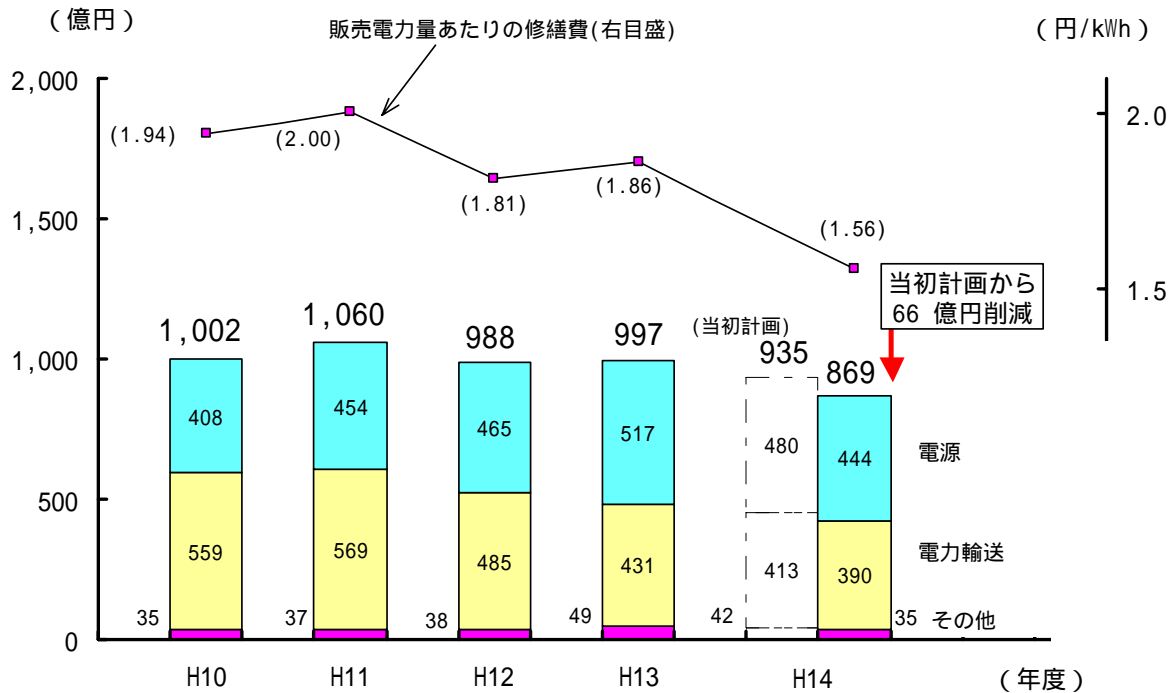
水資源の有効利用を図るために平成14年9月に営業運転開始した奥津第二発電所の建設工事においては、導水路の一部のトンネル掘削にTBM (トンネルボーリングマシン) 工法を採用しました。TBM工法は、機械先端に取付けたカッターを回転させて岩盤を掘削するもので、トンネル工事費の低減を図りました。

点検・補修の合理化などにより，修繕費を抑制しました

点検・補修周期の最適化を図るとともに，請負・資機材調達コストの低減などにより，修繕費を抑制しました。

平成14年度の修繕費は，当初計画から66億円削減し，ここ5年間で最も低い水準となりました。

修繕費の推移



〔効率化施策の事例〕

可搬式セラミックス・コーティング装置の開発

火力発電所の配管などにセラミックス・コーティングを行う可搬式の溶射装置を開発しました。この装置は，従来の装置に比べ半分程度の大きさで，セラミックスのコーティング施工に必要な装置一式を2トントラックに搭載でき，現場への搬送が可能です。これにより，コーティング施工の適用箇所拡大による設備の耐久性向上，長寿命化による補修コストの低減を図ることができます。

可搬型配電線故障点標定システムの開発

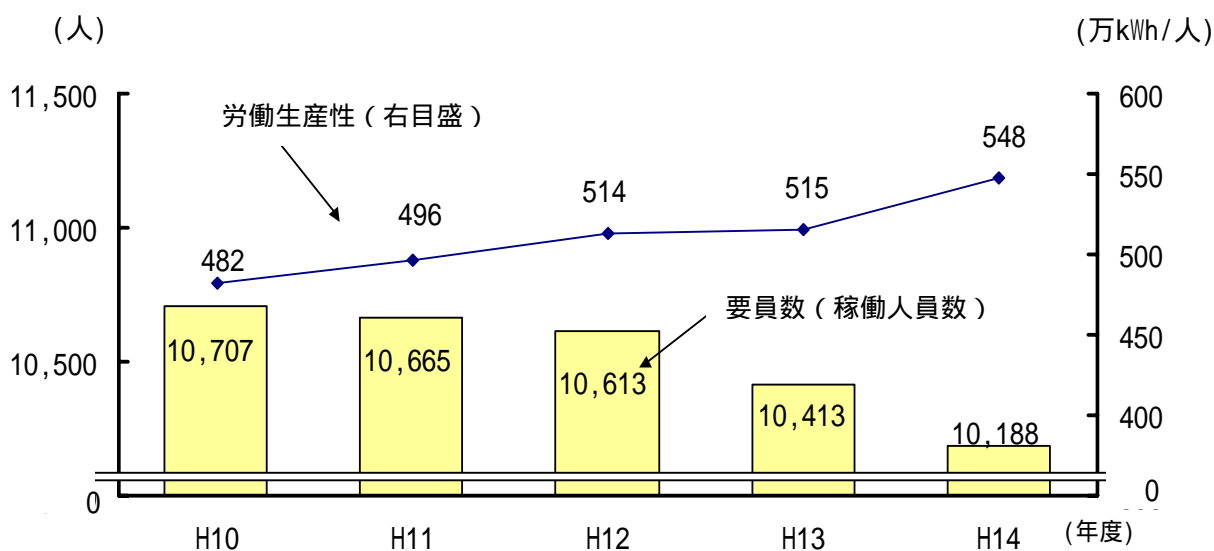
停電発生時に精度よく故障点を発見できるGPS衛星を活用した「可搬型故障点標定システム」を開発しました。この装置は，取付・撤去作業が容易で，必要な配電線に必要な期間だけ設置することができるため，常時設置する方式に比べ少ない配備台数で効率的に故障点を検出することができます。

業務運営の効率化に努めました

業務運営の全般にわたる効率化，簡素化の推進により，要員の効率化を推進し，生産性を向上させています。

平成14年度は，販売電力量の増加に加え，前年と比較して200人以上の要員の削減により，労働生産性(一人当たりの販売電力量)を向上させました。

要員数の推移(1月末)



新規採用者数の推移

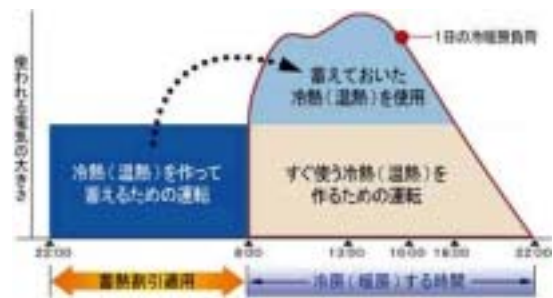
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
新規採用者数(人)	211	211	218	150	139	114	(予定) 100

負荷平準化に積極的に取り組んでいます

電気の使われ方は、昼夜、季節などにより大きな格差があります。この需要格差を縮めて、設備の稼働率を向上させることでコスト削減が図れることから、夜間電力を利用する電気温水器や、蓄熱式空調システム（エコ・アイス）などの普及拡大に力を入れています。

蓄熱式空調システム（エコ・アイス）について

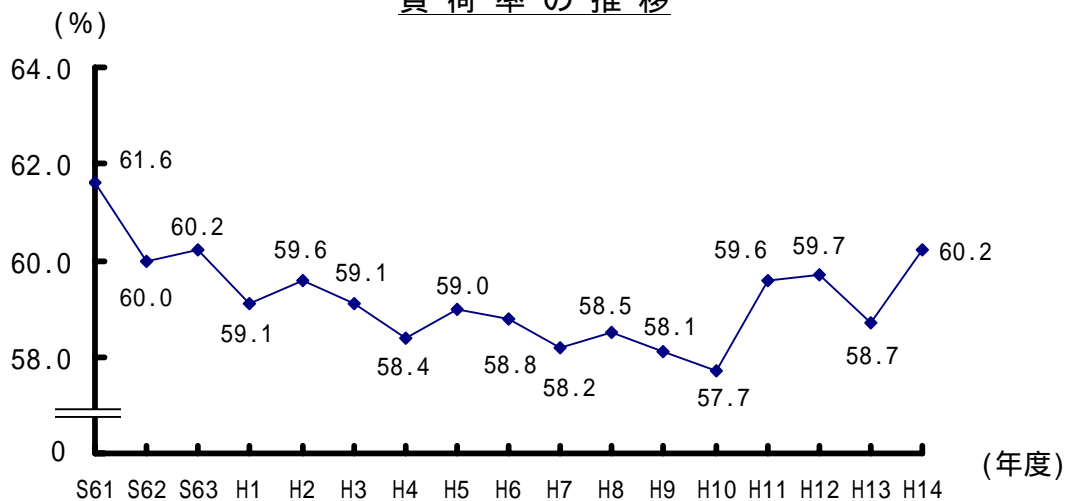
安い夜間電力で熱源機を運転して、夏は冷水(氷)、冬は温水を蓄熱槽に蓄え、昼間にその熱を利用した冷暖房を行います。これにより、昼間の電力負荷を夜間に移行するため、契約電力が小さくなり、基本料金も節約できます。



電気温水器販売台数・電化住宅建設戸数の推移

	H10	H11	H12	H13	H14
電気温水器販売台数（台）	23,981	25,934	28,606	29,576	31,316
電化住宅建設戸数（戸）	5,871	9,359	11,659	16,087	20,328

負荷率の推移



(注1) 負荷率 = 年間平均需要 ÷ 夏季ピーク需要
(数値は、猛暑、冷夏などの影響を除いたもの)

(注2) 負荷率が平成14年度に前年から上昇したのは、生産の回復などにより負荷率の高い大口需要が増加したため。

(2) 電気料金の引下げ

平成14年10月1日から、電気料金の引下げを実施しました

これまでの経営効率化の成果に加え、今後の経営努力を最大限に織り込んで、平成8年以降4回目の料金引下げを実施しました。

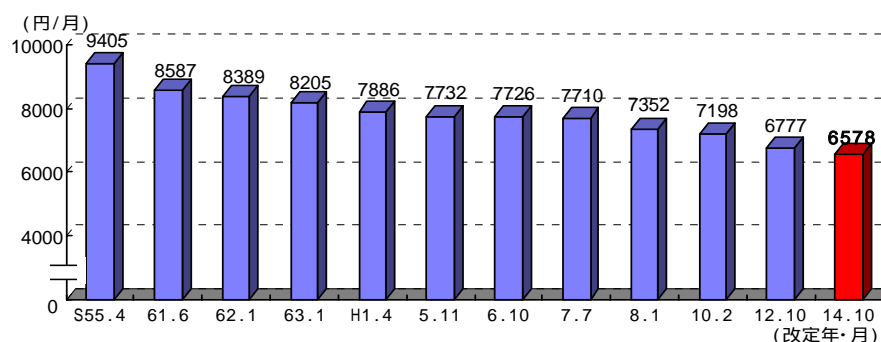
今後も効率化への取り組みを強化して、さらなる料金コストの低減に努めてまいります。

〔料金引下げの内容〕

(単位：円/kWh)

	新単価	旧単価	引下げ率
電 灯 計	21.16	22.14	4.41%
電 力 計	16.25	17.47	6.99%
業務用電力	16.38	18.33	10.68%
小口電力	18.71	19.44	3.75%
大口電力	13.77	14.47	4.85%
電灯・電力計	18.37	19.49	5.72%

家庭用電気料金の推移（従量電灯A契約、ご使用量300kWh/月）

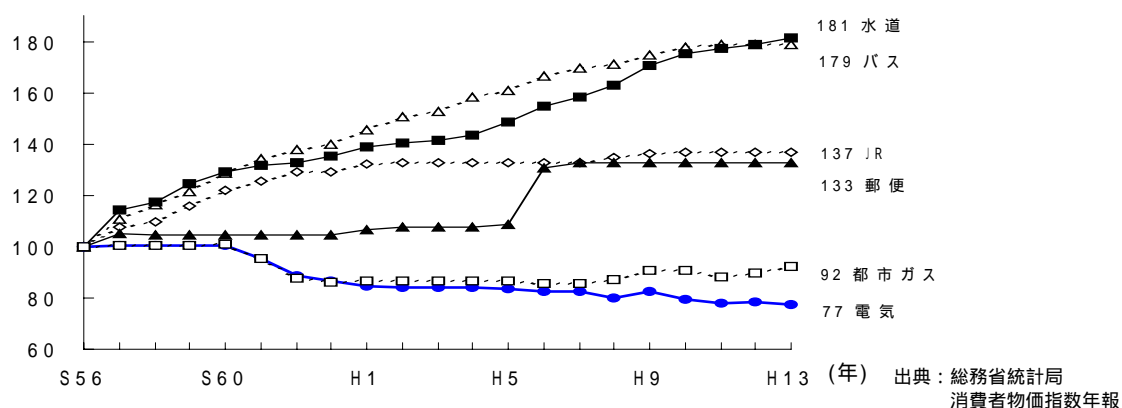


注1) 上記料金は燃料費調整分を含みません。

注2) 昭和55年料金には5%の電気税、平成元年および8年の料金には3%の消費税、平成14年(今回改定)料金には5%の消費税等相当額が含まれています。

【参考】多くの公共料金が値上がりするなか、電気料金の水準は低下しています。

電気料金と他の公共料金との推移比較〔昭和56年の料金を基準(100)とした場合〕



新しい選択メニューをご用意しました

新たな料金メニューの設定

お客さまの電気のご使用形態などにあわせて選択していただく料金メニューを充実させるため、新たに次のような料金メニューを設定しました。

これらの料金メニューは、負荷平準化につながる電気のご使用形態をお客さまの料金メリットとして反映するしくみになっています。

家庭用などのお客さまへ

第2季節別時間帯別電灯...愛称「ファミリータイム〔プラン 〕」

- ・従来の季節別時間帯別電灯（ファミリータイム〔プラン 〕）と同様、電化住宅や電化マンションなど朝・晩にご使用される割合が高いお客さま向けのメニューです。

中規模商店・飲食店などのお客さまへ

低圧高負荷契約...愛称「低圧パックプラン」

- ・電気の使用規模が大きく、負荷率が高いお客さま向けのメニューです。

冬期に限り電力をご使用になるお客さまへ

融雪用電力...愛称「スノーピア・タイム」

- ・冬期の一定期間に限り、ロードヒーティング、消雪用散水ポンプなどを使用されるお客さま向けのメニューです。

サービスメニューの充実

次のようなサービスメニューを新たにご用意しました。

口座振替割引契約...愛称「とくとく振替プラン」

- ・前月の料金が1回目の振替日で振替えられた場合、当月料金を50円割引きます。

(3) お客様サービスの充実と多様化

お客様に、より一層ご満足いただけるサービスの提供に努めました

営業体制の強化

当社は、エネルギー分野における競争が激化するなか、お客様から選択していただくために、価格競争力の強化、営業力の強化、付加価値サービスの多様化等を柱とする営業活動の強化に取り組んでいます。

平成15年2月、今後の電力自由化範囲の拡大に対応するため、「お客様対応の強化」、「技術提案力の向上」、「マーケティング機能の強化」の3つの観点から、以下のとおり営業体制を強化いたしました。

【お客様対応の強化】

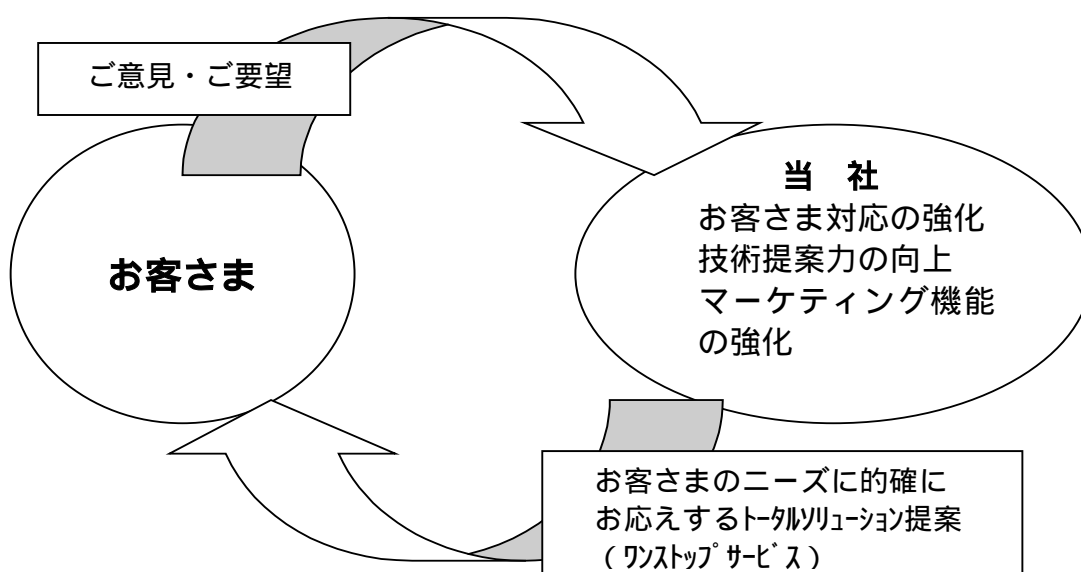
日常的な営業活動から提案までを案件にかかわらず同じ担当者が行う、ワンストップサービスによるトータルソリューション提案を幅広く推進するため、特別高圧のお客様への個別提案活動を行っていた本部の「大口営業センター」を、高圧のお客様に対しても個別提案を展開する「エネルギー営業センター」に改めました。

【技術提案力の向上】

多様化・高度化するお客様ニーズに的確にお応えできるよう技術専門性向上のために、トータルソリューション提案の前提となるエネルギー診断、システム提案など技術分野毎の専任担当を設置しました。

【マーケティング機能の強化】

市場動向に沿った効果的な提案活動等の一層の充実を図るため、マーケティング専任担当を設置しました。



契約センターの設置

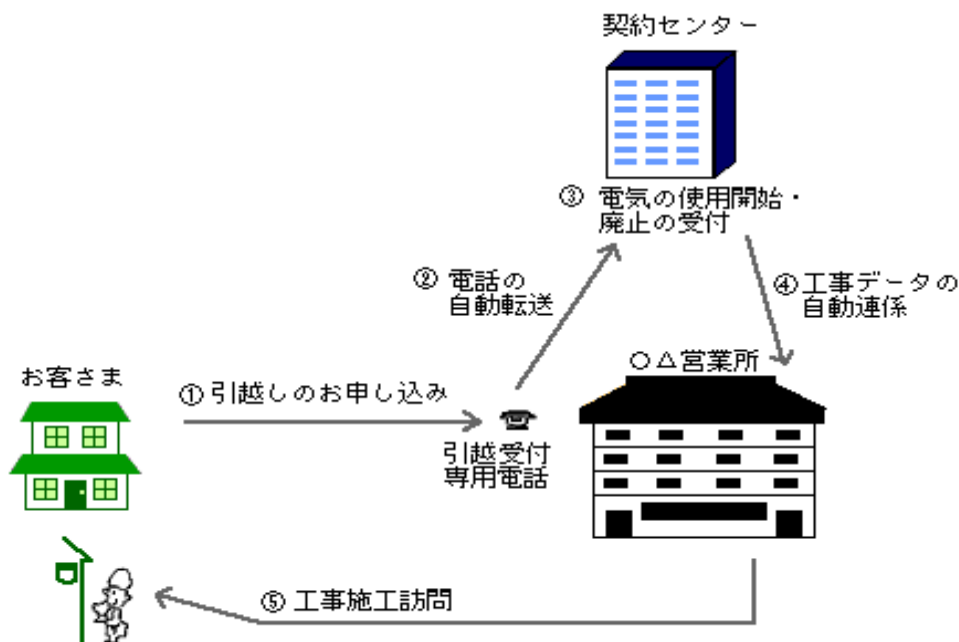
岡山市と広島市の2箇所に「契約センター」を設置し、引越受付業務等を集中化することで、当社サービスエリア内であれば、電気の契約廃止と転居先での使用開始の手続きが1度の電話で可能になりました。また、引越シーズン(3～4月)においても、受付体制の充実により、電話をかかりやすくしました。

平成14年度は、岡山県に続いて鳥取・島根県内の全営業所を対象に業務を開始しました。

契約センターへの集中化の状況

	集中化対象営業所	実施時期
岡山契約センター	岡山県内の全営業所 (7 営業所)	平成 13 年 5 月
	鳥取・島根県内の全営業所 (8 営業所)	平成 14 年 5 月
広島契約センター	広島・山口県内の全営業所 (18 営業所)	平成 15 年 5 月

当社サービスエリア内のお引越は、各営業所の引越受付専用電話番号へお電話ください。
(契約センターへ自動転送されます。)



インターネットによるサービスの充実

引越受付サービス

当社ホームページ (<http://www.energia.co.jp>) から引越に伴う契約廃止，使用開始の申込ができます。

～ ご利用可能期間および時間 ～

[お引越しのご予定を申し込む場合]

お引越し予定日の2ヶ月前から3営業日前まで (24時間可能)

[お引越しされた後に申し込む場合]

お引越し日から1ヶ月の間 (24時間可能)

お申し込みされた内容をホームページから照会，訂正，取消できます。

電気料金・ご使用量照会，試算などのサービス

一般家庭や商店など低圧契約のお客さま，および工場・事務所ビルなどの高圧契約 (ご契約電力500kW未満) のお客さまは，当社ホームページ (<http://www.energia.co.jp>) から電気料金やご使用量の照会，ならびに電気料金の試算などが行えます。

サービスメニュー	サービス内容
電気料金・ご使用量の照会	過去15ヶ月の推移が表やグラフで確認できます。
電気料金の試算	入力された使用量等に応じて電気料金を試算します。
契約変更シミュレーション (選択約款契約への変更)	エコナイト，ファミリータイム，契約電力500kW未満の高圧契約はTOU，高負荷率，ウィークエンドなどへの契約変更シミュレーションができます。
時間割りシミュレーション	エコナイト，ファミリータイムの使用実態の変更シミュレーションができます。

電気料金・ご使用量の照会については，個人情報のため会員登録が必要です。

～ ご利用時間 ～

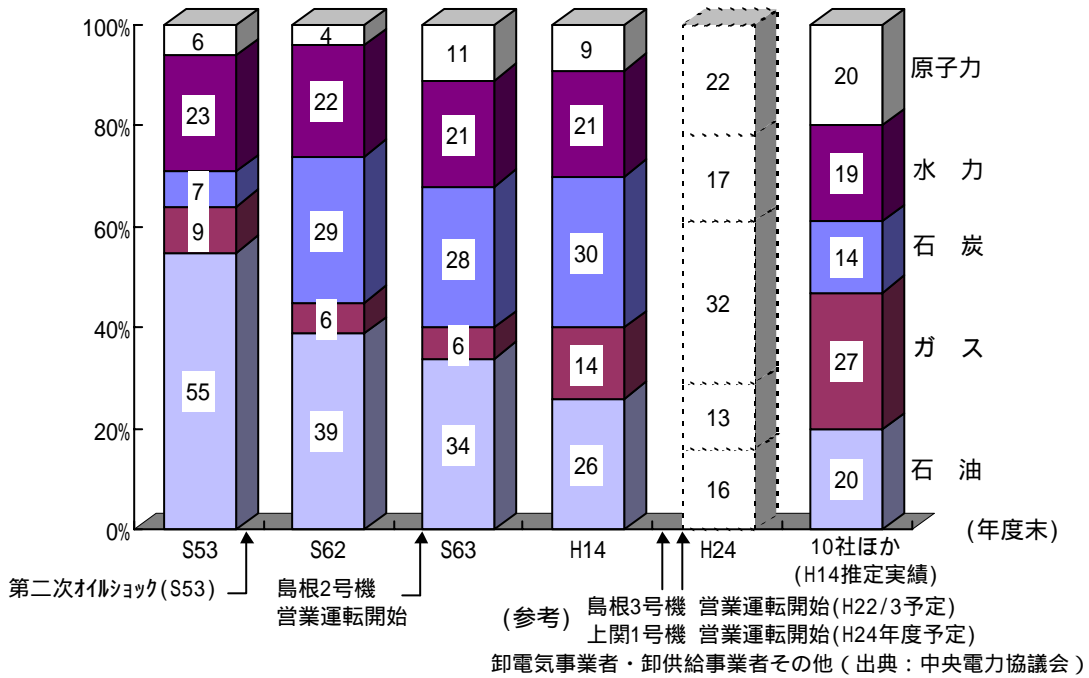
- ・電気料金・ご使用量の照会・・・8時～21時
- ・その他のサービスメニュー・・・24時間可能

2. 安定供給への取り組み

いつでも使える「安心」を

原子力，火力，水力等各電源の特長を活かしながら，将来を見据えた設備計画を立て，これからもお客さまに確実に電力をお届けしていきます。

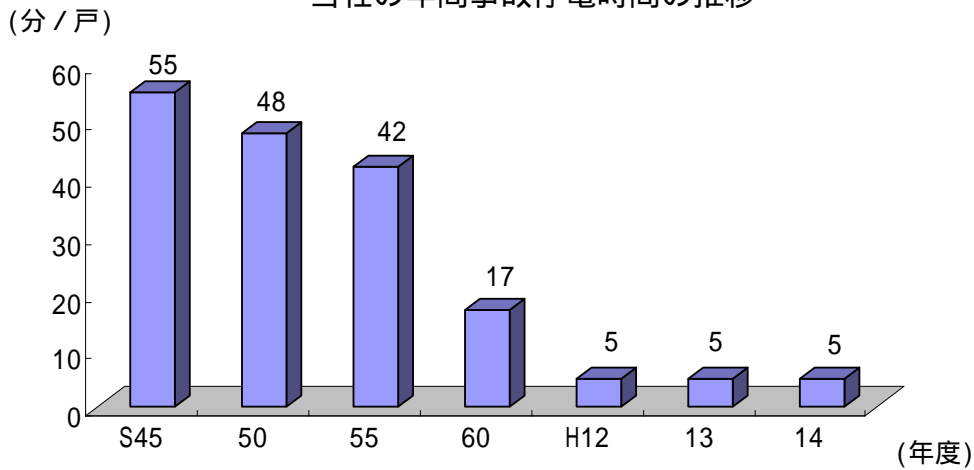
電源構成比率と今後の計画（発電設備量比）



高品質の電気をお届けします

停電時間は，近年低レベルで推移しており，今後も安定して質の高い電気をお届けしてまいります。

当社の年間事故停電時間の推移



3. 環境・エネルギー問題への対応

環境経営の向上に努めています

当社は、事業活動のさまざまな面で環境と深いかかわりをもっており、全社大でISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムを構築し、電力の生産から販売に至る各段階において、環境にやさしい取り組みを推進しています。

昨年11月には、一段と深刻さを増している環境問題に一層積極的に対応していくため、「中国電力環境行動計画」を見直し、原子力発電を柱とする地球温暖化問題への対応をはじめ、オフィス活動における省エネ・省資源活動、グリーン購入・廃棄物の3R対策による循環型社会形成への取り組みを強化するなど、環境経営の向上に努めています。

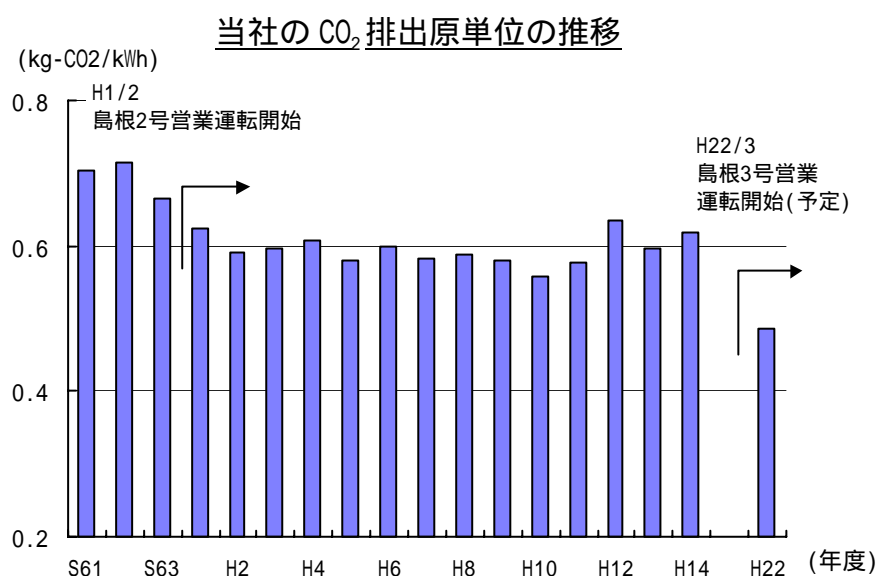
(1) 地球環境問題への対応

二酸化炭素の排出抑制に努めています

新規原子力の推進

原子力発電は、供給面での安定性・経済性に優れた電源として、ベース電源の中核となるものです。また、運転中に二酸化炭素(CO₂)を排出しないため、地球温暖化防止にも大きく貢献します。

当社は原子力開発を経営の最重要課題として、島根・上関地点の開発に取り組んでいます。



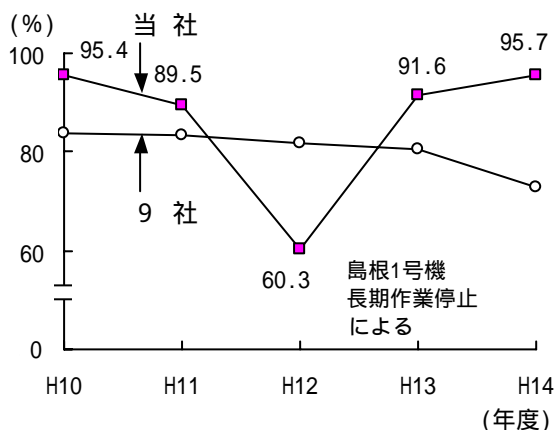
(注) CO₂排出原単位 = CO₂排出量 / 販売電力量
島根1号機長期作業停止に伴う火力発電量の増加による

発電設備の運用効率化

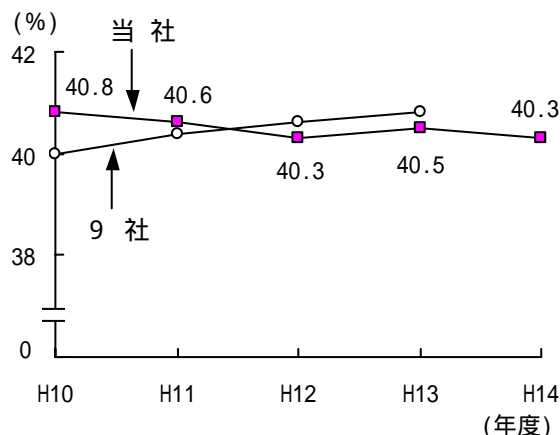
安全性・信頼性の確保を前提に定期検査作業の効率化を図り、原子力発電所の設備利用率の維持・向上に努めるとともに、効率の良い火力発電所を優先的に運転させるなど、高水準の熱効率の維持・向上に努めました。

これら発電設備の効率的な運用により、火力発電所の燃料コストの低減を図るとともに、CO₂の排出抑制に努めています。

原子力発電所の設備利用率



火力発電所の熱効率(発電端)



(2) 循環型社会形成への対応

環境負荷の低減に努めています

循環型社会の形成に向け、廃棄物の発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3R対策を推進するとともに、環境への負荷の少ない製品を選択して購入する「グリーン購入」を拡大するため、昨年8月、「エネルギーグリーン購入ガイドライン」を策定しました。

石炭灰のリサイクル

従来、石炭灰はセメント材料としての利用が大半でしたが、広く土木材料に利用するための技術開発に取り組み、Hiビーズ(護岸工事用海砂代替材)、ジオ・シード(軟弱地盤改良材)、NAクリート(新素材コンクリート)など幅広い製品を商品化しています。

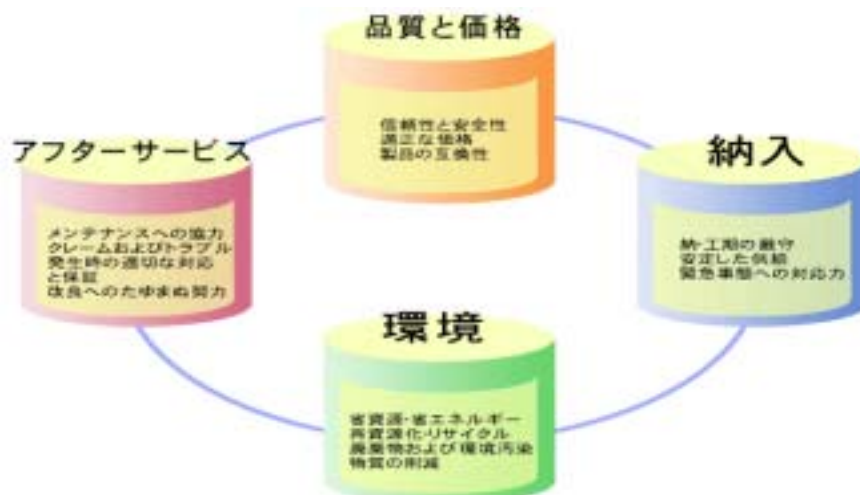


グリーン購入の推進

従来から取り組んでいるオフィス事務用品に加え、当社が調達する電力用資機材等についてもグリーン購入を積極的に推進することとし、取引先企業と一体となって更なる環境負荷の低減に努めています。

資材調達の基本方針

「品質と価格」、「アフターサービス」、「納入」に加え、省資源・省エネルギーなどを考慮する「環境」の視点を新たに追加しました。



エネルギーグリーン購入ガイドラインによる取り組み内容（骨子）

オフィス事務用品等のグリーン購入の推進

取引先企業等からの提案による電力用資機材等のグリーン購入の推進

取引先企業の環境マネジメントシステム構築状況の評価

(3) 新エネルギーの普及促進

新エネルギーの購入や開発・支援に積極的に取り組んでいます

中国グリーン電力基金

「中国グリーン電力基金」は、地域の皆さまから参加者を募り、参加者からの寄付金をもとに、太陽光（公共用）・風力発電設備の建設を助成し一層の普及促進を図る市民参加型の取り組みです。基金の運営は、財団法人中国産業活性化センターが行っています。

当社では、お申し込みの手続きや寄付金の口座振替など、運営のお手伝いをさせていただくとともに、募集PRや基金への寄付金の拠出により、自然エネルギー発電設備の普及拡大に積極的に協力しています。



中国グリーン電力基金のしくみ（イメージ）



平成15年3月末現在加入件数・口数
 加入件数 1,546件 加入口数 2,035口（1口500円/月）

平成14年度 助成対象設備

- ・太陽光発電設備 8件（助成予定額：1,000万円，助成対象出力 計200kW）
- ・大規模風力発電設備 1件（助成予定額：517.5万円，助成対象出力 計4,500kW）
- ・中小規模風力発電設備 3件（助成予定額：732.2万円，助成対象出力 計4,700kW）

平成15年度は、太陽光・風力発電設備の建設に2,800万円を助成する予定です。

お問い合わせや参加のお申し込みは、(財)中国産業活性化センター
 (082-241-9927)および中国電力の各営業所にて承っております。
 申込書は、下記のホームページからお取り寄せいただけます。
 (中国グリーン電力基金ホームページ <http://www.energia.co.jp/green/>)

4. グループ経営と新規事業展開

(1) 中国電力グループ経営の基本的考え方

グループ一体となって、お客さま本位の事業運営に努めます

電力自由化の進展など経営環境の変化に対応し、中国電力グループの着実な発展を目指していくためには、グループ一体となった事業活動がますます重要となります。こうした観点から、昨年10月、今後のグループ経営の「基本的考え方」について、以下のとおり策定しました。

基本コンセプト

目指すもの

魅力あふれる商品・サービスを提供することにより、お客さまから「なくてはならない」と思ってもらえる企業グループを目指します。

引き続き地域経済の中核として地域活性化に貢献するとともに、株主価値を増大いたします。

グループの雇用安定を図りつつ、人材のレベルアップと技術継承、職場活力を向上いたします。

具体的な取り組み

(1) トータルソリューション事業の展開

電気事業をコアに、エネルギーグループが一体となって、トータルソリューションを提供します。

スローガン：マイベストチョイス、エネルギー
～ MY BEST CHOICE, Energia ～

[施策例]

- ・新しいエネルギー供給メニューの開発
- ・情報通信・コミュニケーション技術（IT）を活用した総合的生活支援サービス

(2) グループ経営資源の効果的活用

グループ全体の効率化を進め、グループ経営資源を効果的に活用します。

[施策例]

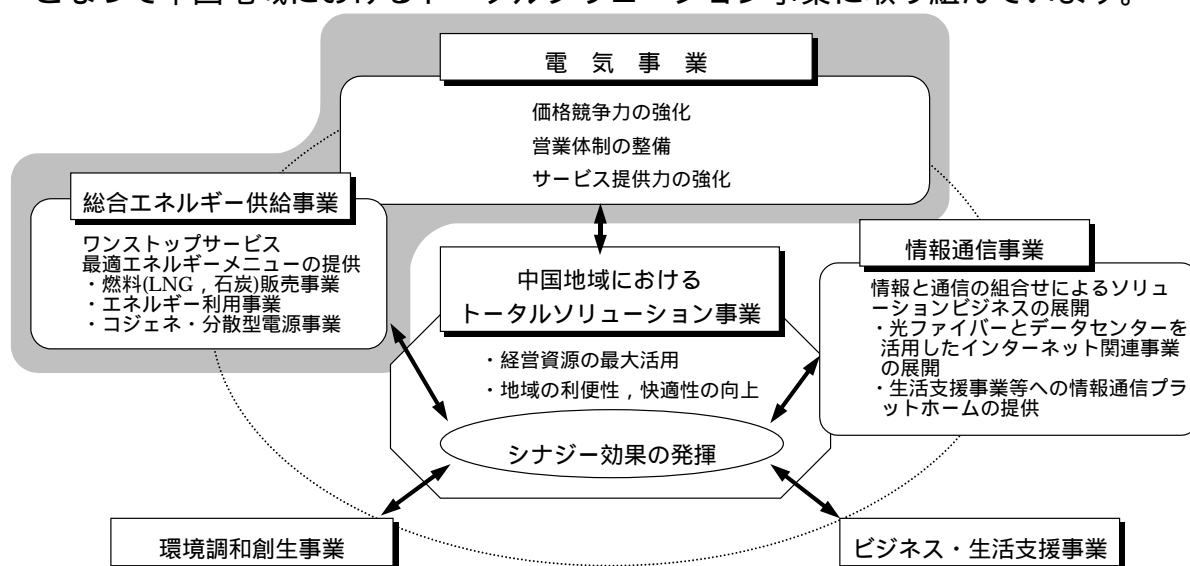
- ・強みを活かした事業への経営資源の集中
- ・グループ営業の強化、グループ内外の人材交流

(2) 新規事業展開

新しい事業領域へ進出し、お客さまの多様なニーズにお応えすることで、グループの収益力を高めていきます

経営環境の変化と当社のスタンス

規制緩和により、新しい事業領域で社会に貢献することが可能になりました。電気事業のなかで蓄積してきた技術、設備および人材を活かし、グループ体となって中国地域におけるトータルソリューション事業に取り組んでいます。



平成14年度には次の新規事業を立ちあげました。

LNG販売事業：

「水島LNG販売(株)」…平成14年4月設立

岡山県水島地区に建設するLNG基地からのLNG販売を行う。(予定)

火力発電技術センターを活用した事業：

「(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニング・サービス(PET)」…平成14年4月設立

発電設備の最適な運転、保守、運用管理技術および人材育成(研修)のトータルサービスを提供する。

ダイオキシン類等の測定・分析事業：

「B&E アライド・テクノロジー(株)(BEAT)」…平成14年10月設立

パブコック日立グループと共同で、ダイオキシン類等の測定・分析を行う。

物流事業：

「(株)エネルギー・ロジスティックス」…平成15年2月設立

(株)リオスコーポレーションと共同で、グループ向けの新たな物流システムを構築し、グループ全体の物流の最適化を図る。

業績の動向

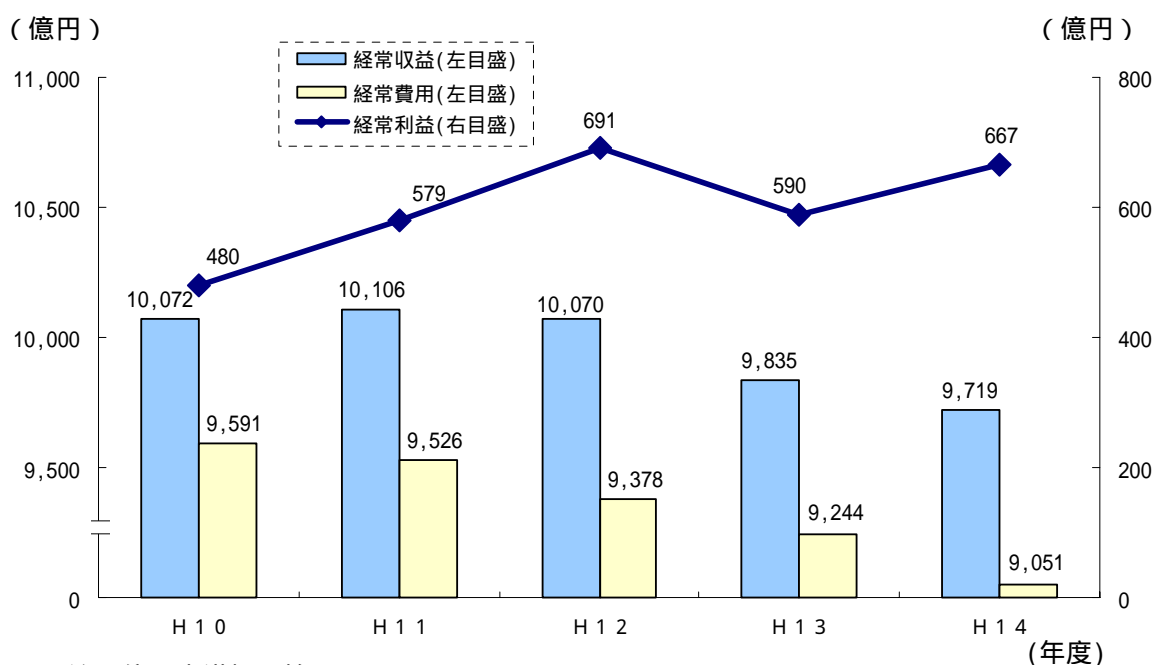
1. 収支実績

【平成14年度決算】

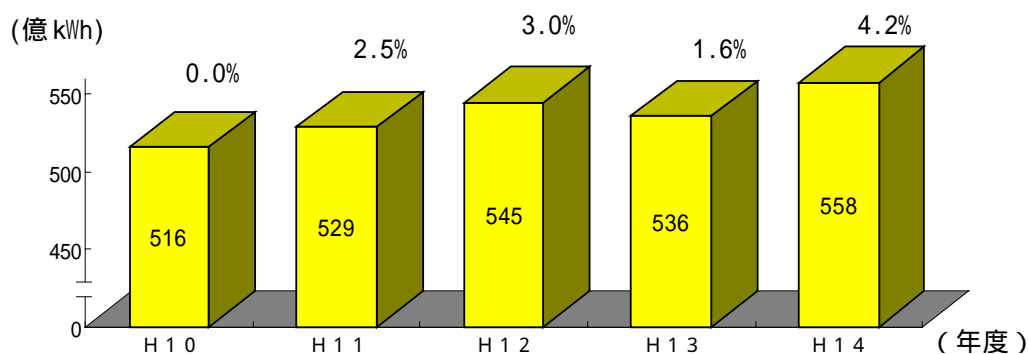
経常収益は、特定規模需要が好調に推移したことなどによる販売電力量の増加はあったものの、料金引下げの影響などにより減収となりました。経常費用は、減価償却費や修繕費など設備関係費の減少をはじめ経営全般にわたる効率化に努めた結果、平成13年度に比べ減少しました。

以上の結果、経常利益は667億円となり、前年に比べ76億円の増益となり、ここ5年間では平成12年度に次ぐ利益水準となりました。

経常収益・経常費用・経常利益の推移



販売電力量の推移



2. 平成15年度の収支見通し

平成15年度の収支は、昨年実施した料金引下げの影響などにより売上高が前年度を下回ることから、減益になるものと見込んでいますが、過去5年平均並みの600億円程度の経常利益を確保できる見通しです。

引き続き業績の向上を目指し、実施段階での経営効率化の推進によりコスト削減に努めてまいります。

		平成15年度 見通し (A)	平成14年度 実績 (B)	増減 (A - B)
(対前年伸び率)	(%)	(0.7)	(4.2)	
販売電力量	億 kWh	554	558	4
(対前年伸び率)	(%)	(4.7)	(0.7)	
売上高(営業収益)	億円	9,200	9,654	454
(対前年伸び率)	(%)	(10.0)	(12.9)	
経常利益	億円	600	667	67

3. 経営目標の達成状況

業績の向上と財務体質の改善を目指して経営目標を設定しています

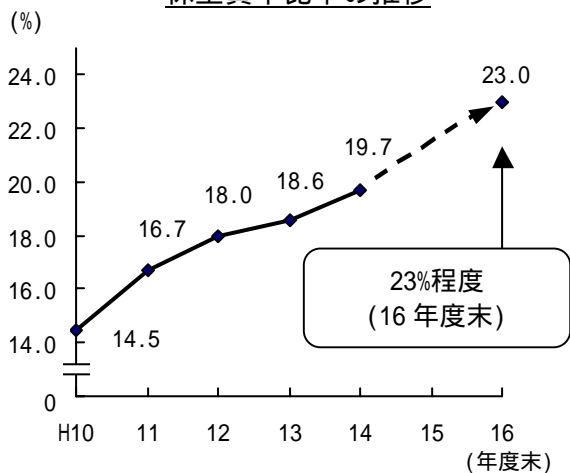
将来の事業環境の変化に備え、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤強化に向けた取り組みを加速させるため、平成14～16年度の3年間において達成する具体的数値目標を設定しています。

平成14年度の実績は次のページのとおりです。これからも経営効率化計画の着実な実施により、経営目標の達成に向け努力してまいります。

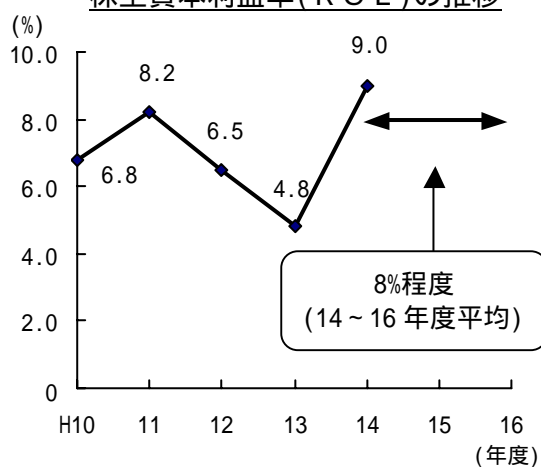
経営目標（平成14～16年度平均）		
株主資本比率	23%程度 (平成16年度末)	株主資本比率 = 株主資本 / 総資本 一般に株主資本比率が高いほど、経営の安全性が高いとされています。
ROE (株主資本利益率)	8%程度	ROE (株主資本利益率) = 当期利益 / 株主資本 株主の資本を使ってどれだけ利益をあげたかを見る指標です。
ROA (総資産利益率)	3%程度	ROA (総資産利益率) = 税引後営業利益 / 総資産 企業が資産をどれくらい効率的に活用して利益を生み出しているかを表す指標です。
経常利益	700億円以上	経常利益 = 経常収益 - 経常費用 会社の収益力を表しています。
フリーキャッシュフロー	1,100億円以上	「フリーキャッシュフロー」とは、企業の営業活動により生み出されるお金から、投資などに必要なお金を引いたもので、借入金の返済や新たな事業の展開などに使えるお金を示します。

【参考】経営目標の達成状況

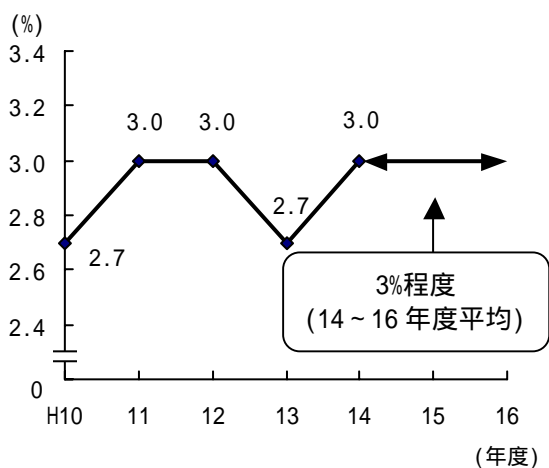
株主資本比率の推移



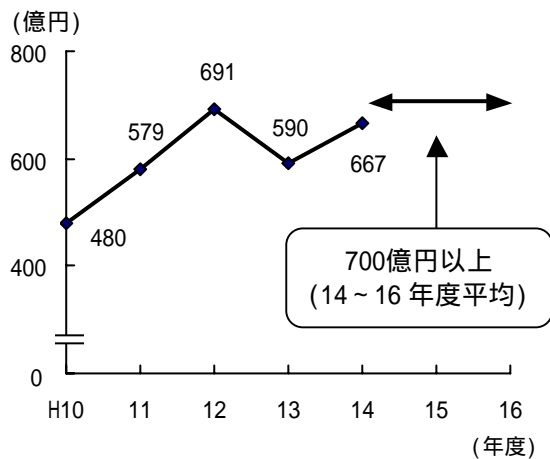
株主資本利益率 (ROE) の推移



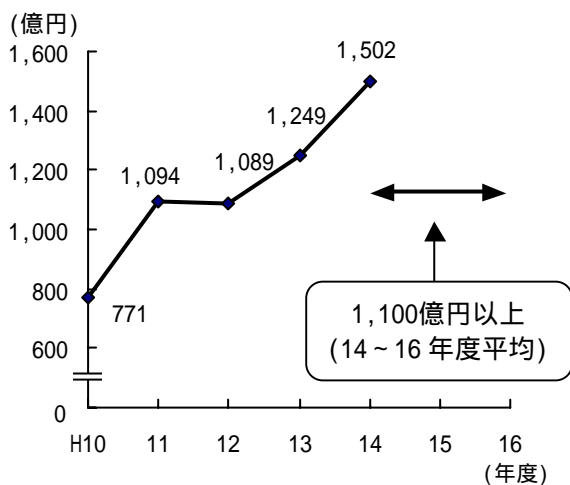
総資産利益率 (ROA) の推移



経常利益の推移



フリー・キャッシュ・フローの推移



参 考 資 料

データでみる中国電力の概要

設 立	昭和 26 年 5 月 1 日	
資 本 金	1,855 億 2,762 万円	
発行済株式総数	3 億 7,105 万 5,259 株	
株 主 数	166,752 名	
契 約 口 数	電 灯	4,497 千口
	電 力	675 千口
	合 計	5,172 千口
販 売 電 力 量 (平成 14 年度)	電 灯	16,850 百万 kWh
	電 力	38,997 百万 kWh
	合 計	55,847 百万 kWh
発 電 設 備	火力 12 力所	8,015 千 kW
	水力 94 力所	2,900 千 kW
	原子力 1 力所	1,280 千 kW
	合 計 107 力所	12,195 千 kW
送 電 設 備	送電線路巨長 地中	458 km
	架空	7,592 km
変 電 設 備	変電所数	392 力所
	出力	46,652 千 kVA
	配電塔数	39 力所
	容量	255 千 kVA
配 電 設 備	配電線路巨長 地中	2,381 km
	架空	77,241 km
従 業 員 数	11,001 人	

(平成 15 年 3 月 31 日現在)

- (1)配電塔には、22kV 変圧器室を含む
- (2)配電線路には低圧線を含むが、配電所管の送電設備は含まない

参考資料 2

決算関連データ

【収支実績】

(単位：億円)

			平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	
経常 収益	営業 収益	料金 収入	電灯料	3,577	3,600	3,674	3,643	3,647
			電力料	5,501	5,431	5,505	5,289	5,249
		小計	9,078	9,032	9,179	8,932	8,896	
	地帯間・他社販売電力料ほか		922	989	802	792	758	
	計		10,001	10,021	9,981	9,725	9,654	
	その他		71	84	88	110	64	
合計		10,072	10,106	10,070	9,835	9,719		
経常 費用	人件費		1,243	1,303	1,267	1,228	1,276	
	原料 費	燃料費	1,095	1,019	1,162	1,059	1,104	
		地帯間・他社購入電力料	1,344	1,349	1,404	1,460	1,414	
		計	2,439	2,369	2,567	2,520	2,519	
	設備 関係 費	修繕費	1,002	1,060	987	997	868	
		減価償却費	2,042	2,031	1,909	1,800	1,668	
		支払利息	834	804	656	502	566	
		計	3,880	3,896	3,553	3,300	3,103	
	公租公課		670	682	678	673	670	
	その他		1,357	1,275	1,312	1,522	1,481	
合計		9,591	9,526	9,378	9,244	9,051		
経常利益			480	579	691	590	667	
湯水準備金			6	-	-	-	-	
特別利益			-	-	-	-	49	
特別損失			15	-	180	218	-	
法人税			191	216	222	75	313	
法人税等調整額			-	7	30	52	53	
当期利益			280	370	320	244	456	

(注)億円未満切り捨て

【収支諸元】

			平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
需 要	電灯	億 kWh	153.6	157.5	162.1	163.8	168.5
	電力	億 kWh	362.5	371.6	221.5	219.3	222.1
	小計	億 kWh	516.1	529.1	383.6	383.1	390.6
	特定規模需要	億 kWh	-	-	161.4	152.9	167.9
	計	億 kWh	516.1	529.1	545.0	536.0	558.5
出水率		%	87.3	90.3	82.5	94.9	79.0
原子力利用率		%	95.4	89.5	60.3	91.6	95.7
為替レート(円/\$)		円/\$	128	112	111	125	122
原油CIF価格(全日本)		\$/バレル	12.8	20.8	28.4	23.8	27.4

【貸借対照表実績】

(単位:億円)

		平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度
固 定 資 産	電気事業固定資産	23,934	22,756	22,711	22,315	21,457
	附帯事業固定資産	18	16	25	23	20
	事業外固定資産	53	53	51	67	68
	固定資産仮勘定	2,229	2,964	2,296	1,528	1,372
	核 燃 料	935	965	1,040	1,105	1,178
	投 資 等	869	1,013	1,127	1,129	1,257
	計	28,039	27,768	27,252	26,170	25,353
流 動 資 産		858	932	995	921	944
総 資 産		28,897	28,700	28,247	27,091	26,298
負 債	固 定 負 債					
	社 債	10,647	10,756	9,321	10,071	9,000
	長期借入金	6,768	6,427	5,879	6,029	5,346
	そ の 他	1,587	1,651	1,859	1,938	2,037
	計	19,003	18,835	17,059	18,039	16,384
	流 動 負 債	5,715	5,058	6,091	4,026	4,733
債	湯水準備引当金	-	-	-	-	-
	計	24,719	23,894	23,151	22,065	21,118
	資 本 金	1,855	1,855	1,855	1,855	1,855
資 本	法 定 準 備 金	590	609	630	630	166
	剰 余 金	1,733	2,341	2,397	2,437	3,172
	評 価 差 額 金	-	-	212	103	57
	自 己 株 式	-	-	-	0	71
	計	4,178	4,806	5,096	5,026	5,180
負債・資本合計		28,897	28,700	28,247	27,091	26,298

(注 1)億円未満切り捨て

(注 2)平成 14 年度は、法定準備金及び剰余金を、それぞれ資本準備金及び利益剰余金に科目を組み替えて表示している。



中国電力グループ

中国電力グループは、お客さまの生活を様々な分野で総合的に支援します

中国電力グループは、環境との共生を図りながら、お客さまの生活や地域社会の快適性向上を支援していくため、様々なサービスや商品をお届けします。

新規事業:

情報通信

中国情報システムサービス(株) [☎(082)247-8511, <http://www.cis-inc.co.jp>]

情報システム・ソフトウェアの開発、アステルPHS事業、データセンター事業、光ファイバー心線貸し事業、インターネット接続事業(MEGA EGG)など

中国通信ネットワーク(株) [☎(082)523-8533, <http://www.ctnet.co.jp>]

光ファイバー専用線サービス、インターネット接続、ISDNサービスなど

中国情報システムサービス(株)と中国通信ネットワーク(株)は、平成15年7月1日に合併し、(株) エネルギア・コミュニケーションズとなります。

総合エネルギー供給

(株) エネルギア・ソリューション・アンド・サービス

[☎(0829)50-2110, <http://www.gr.energiya.co.jp/ess>]

燃料(LNG、石炭)の販売、電気・熱エネルギーの供給サービス(自家用発電設備の設置、メンテナンス等)、LNG利用高効率設備の企画・開発など

水島エルエヌジー(株) [☎(086)448-0055, <http://www.m-lng.co.jp/>]

LNG受入基地の建設・運営

水島エルエヌジー販売(株) [☎(086)448-0069, <http://www.m-lng.co.jp/>]

LNGの調達・販売

福山共同火力(株) [☎(0849)45-3705]・水島共同火力(株) [☎(086)446-3700]

火力発電事業

ビジネス・生活支援

(株)中電ビジネスサービス [☎(070)5828-5237]

経理・資材・人事労務の管理間接業務事務代行など

(株)エネルギー不動産 [☎(082)546-3060]

マンション・戸建住宅の分譲や賃貸マンションなど

(株)国際規格審査センター

[☎(082)545-5701, <http://www.energia.co.jp/energiaj/company/group/group01.html>]

品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムの審査登録および研修セミナー

ハウスプラス中国住宅保証(株)

[☎(082)545-5607, <http://www.jutakuhosho.com>]

住宅性能評価・表示サービス, 住宅瑕疵保証サービス

(株)福利厚生倶楽部中国 [☎(082)543-5855, <http://www.fukuri-chugoku.co.jp>]

法人または団体(共済会・社員会・協会・組合等)の福利厚生代行サービス

中国企業(株) [☎(082)242-7804, <http://www.chuuki.co.jp>]

緑化, リース, ビル管理, 保険, 旅行, 不動産賃貸, 介護サービス, 軽貨物託配, 絵画レンタルなど

(株)中電アクセス [☎(082)541-1110, <http://www.gr.energia.co.jp/access>]

電気温水器・クッキングヒーター・太陽光発電システム等の住宅設備機器の販売など
(岡山・広島・山口)

(株)中電ライフ [☎(0852)55-6100]

電気温水器・クッキングヒーター・太陽光発電システム等の住宅設備機器の販売など
(鳥取・島根)

産興(株) [☎(082)232-4286, <http://www.sankoweb.co.jp>]

印刷, 広告, イベント企画, ホームページ作成, 就職情報誌「LEAD」発行など

(株)エネルギー介護サービス

老人ホーム事業, ティサービスセンター事業, 居宅サービス事業など

(株)エネルギー・ロジスティックス [☎(070)5927-1000]

物流事業, 電線ドラムリース事業など

工事・技術

(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス

[☎(0829)50-2290, <http://www.energia-pet.co.jp/>]

火力発電技術を中心としたエネルギー利用・環境保全技術の技術研修, 研究受託,
ソフト販売およびエンジニアリング事業など

中電工業(株)

[☎(082)505-1500, <http://www.energia.co.jp/energياج/company/group/group01.html>]

住宅リフォーム工事, 塗料の製造・塗装工事, 不動産賃貸など

中電プラント(株) [☎(082)252-4311, <http://www.chuden-plant.co.jp>]

リサイクル・ゴミ処理施設や自家用発電設備の建設・保守, 光ケーブル敷設・
電話基地局建設など

中国計器工業(株) [☎(082)237-3101, <http://www.chukeiko.jp>]

電力量計の製造・販売, 情報ネットワーク構築工事ならびに関連機器販売など

中電環境テクノス(株) [☎(082)242-0291, <http://www.gr.energia.co.jp/technos>]

環境保全装置の運転, 環境調査, 化学分析, 資源リサイクル, 人材派遣, 文書管理など

中電技術コンサルタント(株) [☎(082)255-5501, <http://www.cecnet.co.jp>]

土木や建築等の調査・計画・設計, 地域・都市計画の企画・立案など

(株)中電工 [☎(082)291-7411, <http://www.chudenko.co.jp>]

電気工事, 情報通信工事, 空調管工事, 水道施設工事など

B & E アライド・テクノリサーチ(株)

[☎(0823)26-0512, <http://www.bhic.bhk.co.jp/beat/>]

ダイオキシン類の測定・分析など

(株)エネルギー・エコ・マテリア

石灰有効活用商品・石灰石粉末の製造販売など

製 造

中国電機製造(株) [☎(082)286-3411, <http://www.gr.energia.co.jp/chuki>]

電気温水器・変圧器・配電盤・制御盤・特高受変電設備等の製造・販売など

(株)小月製鋼所 [☎(0832)82-1111, <http://www.gr.energia.co.jp/ozuki>]

タービンケーシング等の一般・特殊鋳鋼品や光ケーブル等の架線アーム等の製造・
販売など

テンパール工業(株) [☎(082)282-1341, <http://www.tempearl.co.jp>]

配線用遮断器・漏電遮断器・住宅用分電盤・配電盤等の製造・販売など

中国高圧コンクリート工業(株)

[☎(082)243-6606, <http://www.zai-keicho.or.jp/plaza/c.c>]

コンクリート製品製造・販売, 土木・建築工事の施工, 産業廃棄物処理など

イームル工業(株) [☎(0824)29-2100, <http://www.eaml.co.jp>]

マイクロ水車発電機(キャンプ場等の電源)・水中タービン発電機等の製造・販売など



〒730-8701 広島市中区小町4番33号

中国電力株式会社

082-241-0211 (代)

インターネットホームページアドレス.....<http://www.energia.co.jp/>

Eメールによるお問い合わせ.....plan3@inet.energia.co.jp
